



瀬戸小だより

ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

mail:y3setoga@edu.city.yokohama.jp <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/setogaya/>

学校だより 5月号
令和3年6月30日
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校
校長 松永 淳子
TEL 713-8336 FAX 713-9749

瀬戸ヶ谷小学校

検索 

様々な交流を通して

校長 松永 淳子

木々の葉が生い茂り夏本番を迎えようとしています。校庭には子どもたちの育てている花が色鮮やかに咲き始めたり夏野菜が実ったりしています。夏休みが目の前まで来ているのが感じられます。そんな中ですが、新型コロナウイルスは落ち着きを見せず、まん延防止等重点措置は未だ解除されずにいます。なかなかかつてのような教育活動を行えずにいるのがもどかしいです。それでも、子どもたちが元気いっぱい学校生活を謳歌している様子に私たち教職員は救われています。

今年度は、5月にスポーツフェスティバル、6月に授業参観、7月に個人面談と保護者の方々に学校に来ていただける機会が昨年度に比べ増え、保護者の方々と連携がとれる状況をありがたく思っております。どうぞ、様々な面でご協力いただけますようお願い申し上げます。

さて、6月17日（木）に今年度初めてのクラブ活動を実施いたしました。子どもたちにアンケートを取り、今年度は次のようなクラブが成立しました。

卓球 陸上 テニス 球技 バトミントン バasketボール ソーラン節 理科実験
漫画・イラスト パソコン

それぞれ4・5・6年生の異学年で構成され、6年生がリーダーシップを発揮して一年間活動が行われます。第一回目の活動では、部長や副部長を決めたり年間の活動について話し合ったりしました。子どもたちが自主的に活動を行えるよう教職員はサポートしていきます。第一回の活動が終わった時、数人の6年生に「今年のクラブはどうですか。」と聞いたら、一人の6年生が「沈黙の時間が怖いです。」と言っていました。おそらく、話合いの場面で、考えを聞いている時何も答えが返って来ずどのように対応したらよいのかわからなくなってしまい、その時のことを言っているのではないかと推測されます。大人から見たら些細なことでも、子どもたちはどのように対処したらよいのか分からず真剣に考えているのです。そしてそれは最高学年という責任からくる緊張の瞬間なのでしょう。4年生や5年生には好きなことができる楽しい時間ですが、部長や副部長になった6年生にとっては、クラブのみんなの考えをまとめ、楽しい時間にするために懸命になって頑張っている時間なのです。これだけのクラブがあるので活動場所をどのように活用するとみんなが多くの時間、効率よく楽しめるのかを考えるだけでも大変です。まして今年もコロナ禍での活動です。感染防止対策をしながらの活動を考えなければなりません。担当の教職員と知恵を出しあいながら進めていくこととなります。異学年を一つのまとまりとした活動は他にも委員会や「なかよし活動」がありますが、学校生活の中には同じ学年を主とした活動がほとんどです。しかし、子どもたちが成長し、社会に出ると、様々な年齢の人と関わる時間が増えることとなります。その時のためにも、異学年で活動する時間はとても大切です。数少ないその時間を大切にしながら多くの人と関わり、互いを思いやる心をそれぞれの学年の子どもたちに育てていきたいと考えております。夏休みは、子どもたちが地域の中で様々な年齢の方々と関わり、考えを広げ深めていくことができる貴重な時間です。地域の皆様、保護者の皆様、夏休みの子どもたちの見守りよろしく願いいたします。夏休みが終わった8月27日、たくましくなった子どもたちに再会できるのを楽しみにしています。